

新年のご挨拶 足立区生涯学習センター 所長 平野 昌暁 様

新年あけましておめでとうございます



「旧年中は大変お世話になりました。
コロナ禍のなか、制限はありつつも事業、イベントなどが実施できるようになってまいりました。生涯学習センターとしても「コロナによる中止」がなくなり、予定通りに実施できる喜びを改めて感じる年となりました。

貴団体におかれましては、NPO 法人設立 20 周年を迎えられるとのことで、ひとえに皆様の努力の賜物であることに非常に敬服しております。

私どもも、令和 5 年度は生涯学習センターを運営させていただいてから 15 年目を迎えます。皆様と同じ、質の高い学びを提供したい、という一心で、これまで事業などを実施してまいりました。長いようであつという間の 15 年で、思い返せばいろいろなことがありました。多少なりとも足立区の生涯学習に貢献できたかな、とも思いますが、まだまだ道半ば、とも感じています。貴団体と共に手を取りつつ、切磋琢磨しつつ、生涯学習の発展に尽力できれば幸いです。

コロナ禍もまだ続きそうですが、皆様のご多幸、ご健康をお祈りいたします。

あらためまして、本年もよろしくお願いいたします。 足立区生涯学習センター 所長 平野 昌暁

NPO 法人設立 20 周年を迎える節目の年に

新年あけましておめでとうございます



新年に当たり、当会の活動にご支援を頂いております足立区、足立区教育委員会、足立区生涯学習センター、大学塾講師の皆様にご感謝申し上げます。本年も何卒宜しくごお願い致します。昨年も 3 月までコロナ感染症の「まん延防止等重点措置」のため活動できない状態でしたが、4 月からは大学塾講座も再開され、順調に予定された講座を開催することができました。令和 5 年度は、令和 4 年度に計画した講座が、コロナで中止または延期した 8 講座を含め 19 講座を計画しております。いずれの講座も多くの受講者に参加いただき、運営スタッフのモチベーションを高めることになって

くと思います。しかしながら「コロナ禍」会員数の減少と講座運営ボランティアの参加者が著しく減少し、常に限られた人数で運営せざるを得なく、年間の講座数を絞らなければならない状況です。メールによる講座申込が約半数を超える状況となり、メールでの申込が定着しつつあります。

昨年 4 月の大学塾講座より受講料を改定しました。平成 15 年の講座開設以来据え置かれていた受講料は講師謝礼の増額、運営経費のアップ等のため値上げしましたが順調に推移しています。昨年も 3 名の新会員が入会いただきました。本年も会員の獲得に全力で取り組みたいと思います。

4 月には、NPO 法人「楽学の会」として 20 周年を迎える節目の年となります。新たな気持ちで楽しく、生きがいを感じ、魅力あるボランティア団体として、これからも継続して、区民の皆様への学習支援活動に貢献できるよう推進して参ります。本年も皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

代表理事 篠原 英也

令和4年度 大学塾 第4ステージ 開催報告

「日本書紀」編纂 1,300年 ～ 真偽を読み解く～

奈良時代、天武天皇の命により712年「古事記」、720年「日本書紀」が編纂されました。両書が編纂された背景や内容の差、神武天皇は実在したのか、卑弥呼や邪馬台国はどのように書かれているのか、聖徳太子は十七条憲法や冠位の十二階を制定したのか、大化の改新の背景など、近年研究されている諸説を読み解きます。



天武天皇

講師：榊原 金市 氏

当会会員・NPO 法人シニア大楽講師・歴史研究家

日時：2月7・14・21日（火曜日）全3回 午後2時～4時

会場：足立区生涯学習センター（学びピア21内）5階 研修室1

講義内容：第1回 神話時代、初代神武天皇、日本武尊 など

第2回 卑弥呼と邪馬台国、仏教伝来、新羅戦争 など

第3回 聖徳太子、大化の改新、天武天皇 など

これだけは知っておきたい 相続手続きと遺言書

相続の問題に直面した時、基本的な知識を知っておくことは大変重要です。又、相続手続きにおける遺言書の役割を知ることもとても大切です。相続と遺言書に関する基本的なポイントをわかりやすく解説いたします。



講師：奈良井 達(さとる) 氏（足立区在住）

東京都行政書士会足立支部所属 一般社団法人暮らしの相談室理事

日時：2月10・17日（金曜日）全2回 午後2時～4時

会場：足立区生涯学習センター（学びピア21内）5階 研修室4

講義内容：第1回 相続手続きの基本知識

第2回 遺言書の基本知識

元 NHK アナから学ぶ 話し方の改善とミニトレ



12月1・8・15日(木)の3回にわたり、生涯学習センターの第1研修室において開催された。講師は元 NHK エグゼクティブアナウンサーで NHK 放送研修センター専門委員の岡部晃彦氏。コロナの影響で4年ぶりの講座であった。申込みは26名、受講者は24名、出席者は第1回22名・第2回22名・第3回21名・合計65名であった。

第1回は「もっと分かりやすい話し方をしたい～声の訓練・分かりやすい抑揚・整理して話す～」として、通信の発達により世の中は大変便利になったが、人と人の会話は減少して話し方も乱れてきている。講師のアナウンサー研修やインストラクターの経験から、ミニトレーニングを交えながら講義が進んだ。声を届けるには「息」が重要で、「伝えようとする気」が必要である。声には「強さ」「高さ」「持続」「音色」の4要素がある。さらに、発音をはっきり、早口にならない、抑揚と間で意味を伝わりやすくする、言葉は易しく・的確な言葉を使う・文は短く・整理して話す・言いたいことに絞るなど、講師が見本を示しながら、受講者にミニトレーニングを行った。



第2回は「心優しい会話ができるようになりたい～優しい音声・優しい話法・言葉の地雷・話を聞くこと～」として、「話し言葉」のコミュニケーションは「知的なもの」と「情的なもの」が、第1回は「知的なもの」に絞ったので、第2回は「情的なもの」について抗議された。「情的なものは」情や心がこもっていることが大切で、心のコモった音声とは、優しく丁寧な音声が良いとされており、会話の受け方や発する言葉やメッセージや聞き方も優しく対応することが重要である。

第3回は「日本語を正しく使いたい～放送用語の精神・間違った意味や読み方・敬語の注意点～」として、日常よく使われる言葉の注意点を振り返った。アカウントなどの新しいカタカナ語・BMIなどのアルファベット語・物を数える際の助数詞・衣紋かけやナウいなどの使われなくなった言葉・「出れる」「出られる」などのラ抜き言葉や「行ける」「行ける」などのしたす言葉などの変化してきた文法・最近間違いの多い敬語文法の変化・「やおら」や「鳥肌が立つ」など「文化庁の国語に関する世論調査」から本来の意味と変化している言葉・「ギター」「ギター」などのイントネーションやアクセントなどが変化してきた音声の問題が示された。



「最後に守りたい日本語と文化」としてマスコミの言葉の精神や言い方の精神を考えると、次の5項目が示された。①多くの一般人の分かりやすい言葉を基本とする。②正しい文法や適切な言葉、本来の慣用を重視し正しい日本語を普及する。③人に優しい言葉・言い方を基本とする。④品性と美しさと豊かな表現の言葉。⑤日本語を守りながらも、新しい文化・言葉も普及する。=おしまいに=お互いにリスペクトし合い、思いやりを伝える言葉で話し合える社会環境であってほしい。と結ばれた。質疑応答では1・2回の質問用紙に寄せられた3つの質問に答えていただいた。

受講者の言葉： 具体的なトレーニングが多くて、とても楽しく分かりやすかったです。「ことばは経験、生きた積み重ね」というお話が、大変心に残りました。・一部参加型なところもあり、緊張しながらも楽しく受講することが出来ました。学びのある講座でした。また話し方の講座があったら参加したいと思います。・話すとは日常であり意識することはなかったが、自分の言葉を相手に届ける意識をすることでコミュニケーションが深まることがよく分かりました。

講師の岡部先生、受講者の皆様ありがとうございました。

(糸井史郎)

令和4年度12月月例会 報告

情報交換会の開催

12月19日、学びピア21内、7階レストランさくらに於いて、新に入会された会員さんも含め15名の方が集まり久しぶりに情報交換会を行い楽しく歓談いたしました。

まず、篠原代表のあいさつと乾杯の音頭で3年ぶりに一同でグラスを交え、久々の会員の集える行事に参加された皆さん大変嬉しそうでした。



しばしそれぞれに飲食、歓談の後、新たに入会された会員さんに挨拶をして頂き、また、参加されたみなさんからも一言ずつ近況を含めて自由にお話しをして頂きました。



3年ぶりに海外旅行に行った人、手術をして元気になった人、会の現状と今、自分がやっている活動のこと、入会40年にもなるという超ベテランの人、飲み会交流が3年もやれずに残念という方、病気で活動休止中の会員を心配する声などなど・・・、それぞれ、思うことを話されました。



途中「もみじ川柳」を披露し、身につまされる川柳にうなずいたり、笑ったりのひと時もありました。また、席近くの周りの方たちと自由におしゃべりして頂き、新たな気づきもあったのではないかと思います。普段の会議の中では十分に話す時間もないので、貴重な情報交換の場になったことでしょう。



コロナ感染の拡大が相変わらず続いている状況なので、まだ思う存分騒いで発散させる様な事はできず、ささやかな料理と少しばかりのお酒で騒ぐこともなく、有意義な懇親と情報の交換会となりました。

最後は糸井副代表に一本締めをして頂き、無事終了しました。帰りには、会員のご厚意による差し入れのお土産をお渡しして2時間で切り上げました。皆さんご協力ありがとうございました。

(ボランティア活動推進部)

令和4年12月運営委員会 報告・連絡

1. 議 事

(1) 情報交換

- ・今月も新規会員が入会いただきました。
松下 朋子 様 (マツシタ トモコ)
- ・NPO 活動支援センター主催の NPO フェスタの開催について
12月3日(土)、4日(日)に開催され、3日エルソフィアに展示のみで参加しました。
近藤足立区長、栗木協働・協創推進課長がブースに立ち寄りられご挨拶させていただきました。

(2) 月例会開催について

- ・11月の月例会は11月16日(水)「会の活動を考える」をテーマに意見交換を行った。
- ① 大学塾講座参加者への会員お誘いの声掛けを行う。
 - ・・・1月の「徳川家康と二英傑の謎と真相」受講者全員に楽学の会チラシを配布する。
河野さんから提案のリニューアルした楽学の会チラシ(案)を使用する。
出席者で検討したが、もう少し会の活動内容がPRできる内容にして欲しい。1月再提案
- ② 休んでいる会員に活動に参加してもらう。
 - ・・・休眠会員に活動参加への呼びかけの手紙を出す。
対象者をピックアップしたが、高齢者が多く運営ボラ参加は難しいので呼びかけは中止
- ・12月の月例会は 12月19日(月)午後5時～レストラン「さくら」にて情報交換会を開催します。
参加者募集・・・12月13日(火)締切り

(3) あだち区民大学塾(講座検討会議・講座企画会議)

- 11月「樋口一葉の生涯」 応募者 26名 渡邊 征夫 講師 11/4,11,18 11日は現地学習。
- 11月「足立姫 伝説」 応募者 21名 野口 竜栄 講師 11/8,15,22 15日,22日は現地学習。
- 12月「話し方の改善」 応募者 26名 岡部 晃彦 講師 12/1,8,15 1回目の参加者 22名
- 1月「徳川家康と二英傑」 応募者 29名 (12/5現在)・・・講座運営ボランティア募集中

(4) 各部局・PTからの報告および提案

- ① ボランティア活動推進部 部会 12/19(月)・・・情報交換会の案内
- ② 事務局 部会 12/6(火) ニュース発送

次回運営委員会 1月5日(木) 14:30から(研4)

NPO フェスティバル 2022 開催

広げよう！人と人をつなげるチカラ

「あだち NPO フェスティバル 2022」は3年ぶりに12月3日(土)、4日(日)にエル・ソフィアを中心に4カ所の会場でリアル開催されました。出展団体が多く、会場のスペースの関係でブース出展団体は1日だけのパネル展示となりました。当会は3日(土)11:00~16:00エル・ソフィアの1階で「楽学の会」の拡大看板と大学塾講座風景の写真を展示しました。足立区協働・協創推進課長 栗木希氏の開催挨拶でスタートしました。開始間もなく、近藤やよい 足立区長 と栗木希 課長が当会のブースにお立ち寄りになりました。区長より「歴史ある団体ですね」と、活動をねぎらうお言葉をいただきました。お客様には楽学ニュースと楽学の会のチラシを配布し、当会への入会とあだち区民大学塾講座受講のご案内をいたしました。

今回は会場が4カ所に分散されており、4つのスポットをまわりながらスタンプを集めて景品が当たるスタンプラリーもあり、家族連れで賑わっておりました。(篠原 英也)



◎講座名：シリーズ武将と信仰 徳川家康

日 時：2/11(祝) 午前 10 時～正午
 対 象：16 歳以上の方
 会 場：5 階 研修室 1
 受講料：800 円
 定 員：60 人（事前申込先着順）
 講 師：生駒 哲郎氏（東京大学史料編纂所）
 内 容：戦国武将の華々しい活躍には皆心を踊らされますが、その行動に隠された武将の考えや思いまではなかなか見えてきません。武将の信仰に焦点を充てる事で、それぞれの政への考え方などを学び、新しい視点で歴史を見てみましょう！家康は死後、神としてまつられますが、そのいきさつについては様々な思惑が絡んでいきます。また、東照大権現となった家康を利用することで精神的にも江戸の基盤を築いていきます。家康の信仰と死後の動きと政の関係を考えていきます。

◎講座名：心理学みたいな経済学 行動経済学で考える私たちの生活

日 時：2/25(土) 午前 10 時～正午
 対 象：16 歳以上の方
 会 場：5 階 研修室 1
 受講料：800 円
 定 員：50 人（事前申込先着順）
 講 師：川西 諭氏
 （上智大学 経済学部経済学科 教授）
 内 容：今日、激安スーパーで買った野菜は本当に安いのでしょうか!? 私たちが直感や思い込みで選ぶ選択は、実は合理的ではないことがあります。人間の心理を読み解き活用する、行動経済学のおもしろさを知っていただきます。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口
 インターネット [近所 de まなびナビ] で検索
 イベント・講座情報→講座予約システム

令和 5 年 1 月「月例会」のご案内

日 時：1 月 12 日（木）午後 3 時～5 時
 場 所：生涯学習センター5 階 研修室 4
 テーマ：大学塾の講座の作り方
 講 師：広報部 G 金子 勝治 氏

令和 5 年 2 月「月例会」のご案内

日 時：2 月 16 日（木）午後 3 時～5 時
 場 所：生涯学習センター5 階 研修室 4
 講 演：「社会福祉協議会の事業について」
 講 師：足立区社協 地域福祉部 部長補佐
 鈴木 香世 氏

*皆様の積極的な参加をお待ちしています。
 （ボランティア活動推進部）

- ◎ 運営委員会
1 月 5 日(木) 午後 2 時半～4 時 研修室 4
- ◎ 月例会
1 月 12 日(木) 午後 3 時～5 時 研修室 4
- ◎ 学習支援部
1 月 12 日(木) 午後 1 時～2 時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
1 月 11 日(水) 午後 2 時～4 時 ワークルーム
- ◎ 事務局
1 月 17 日(火) 午後 2 時～4 時 ワークルーム
- ◎ 広報グループ
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議
1 月 12 日(木) 午後 2 時～3 時 研修室 4
- ◎ 大学塾講座企画会議
1 月 5 日(木) 午後 1 時半～2 時半 研修室 4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
1 月 9 日(月)

★お問い合わせ＆ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 江川武男 電話:090-3105-8140
E-Mail : takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp

編集後記

脱炭素化社会に向けての取り組み

地球温暖化に影響を及ぼす温室効果ガスには、二酸化炭素やメタン、一酸化二窒素、フロンガスなどがあります。特に温暖化への影響が最も大きいとして問題視されているのが CO2 の排出量です。日本では資源に乏しいこともあり明治維新以降も重工業を中心に化石燃料に頼って成長を進めてきたため脱炭素化は大きく遅れているのが現状です。またその後の日本の脱炭素政策の停滞は、東電福島第一原子力発電所の事故をきっかけとした原子力への不信感などによるものです。海外から輸入される石油・石炭・天然ガス(LNG)などの化石燃料へのエネルギー依存度は、1973 年には 94% だったものが東日本大地震前には 81.2%と下がっていました。しかし、その後の原子力発電所の停止後の 2017 年には 87.4%と再び上昇しています。また、2021 年時点での再エネ導入量は、イギリス、ドイツに比べると半分以下の 18%しかありません。脱炭素化への遅れの原因である化石燃料消費の背景には、再エネ導入が遅れ、現在も十分に進んでないのが現状です。2020 年後半から 2021 年にかけて世界の主要な二酸化炭素(CO2)排出国が脱炭素目標を掲げ、世界が「カーボンニュートラル」へ向かう流れが決定的となっています。今、日本は CO2 の排出量が比較的少ない原子力発電が欠かせないとして「GX 実現に向けた基本方針案」を取り纏め、原発政策に対する大きな方針の転換に向かう。(次号へつづく) (金子 記)